

FASHION REVOLUTION WEEK 2023.4.22-29

聖学院大学

サステナビリティ推進センター・政治経済学部共催
公開講演会

サステナブル・ファッション ～人と自然と衣服のつながり～

FASHION REVOLUTION とは？

ファッション産業をフェアで安全な産業にしてい
ことをめざすムーブメント。発端は2013年4月
24日、バングラデシュの縫製工場が複数入居し
ていたラナプラザ・ビルの崩落事故です。死者
1000人以上、負傷者2500人以上という痛ま
しい事故でした。しかも、前日にビルに亀裂が見
つかっていたのに操業を止めず、事故が起こっ
てしまったのです。この事故を契機に、短い納期や
工賃の圧迫など、ファッション産業の構造的な問
題が浮き彫りとなりました。また、発注側のブラン
ドが工場の状況を把握していなかったため、ファッ
ション産業のサプライチェーンの不透明さが問題
視され、世界中の消費者がSNSを通して
「#whomademyclothes（私の服は誰が
作ったの？）」と問いかけるムーブメントに発展し
ました。その後、4月24日を含む1週間は
「FASHION REVOLUTION WEEK」とされ、
生産過程の透明化の重要性を訴えるイベント
が世界各地で開催されています。

日時： 4月26日（水）

9:00～10:30

会場： 聖学院大学4号館

4401教室

講師： 鎌田安里紗

一般社団法人unisteps
共同代表理事



FASHION
REVOLUTION
Japan

イベント申し込みサイト ▶

[https://www.seigakuin.jp/
events/20230426ssc/](https://www.seigakuin.jp/events/20230426ssc/)



【問い合わせ先】 聖学院大学サステナビリティ推進センター（SSC）

Tel: 048-781-0079 Mail: sustainability@seigakuin-univ.ac.jp

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

#whomademyclothes

鎌田安里紗

「多様性のある健康的なファッション産業に」をビジョンに掲げる一般社団法人unistepsの共同代表をつとめ、衣服の生産から廃棄の過程で、自然環境や社会への影響に目を向けることを促す企画を幅広く展開。種から綿を育てて服をつくる「服のたね」など。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程在籍。環境省森里川海プロジェクトアンバサダー。消費者庁サステナブルファッションサポーター、経済産業省「これからのファッションを考える研究会」「繊維製品の資源循環システム検討会」委員など。



聖学院大学 to サステイナブル・ファッション

by サステナビリティ推進センター & Petite Arche (SDGs推進学生団体)

聖学院大学では、2021年度からサステイナブル・ファッションに関する取り組みを進めています。まず、①大学内で古着を回収し、回収した古着を利用した②ファッションショーや③裂織ワークショップで古着の魅力を発信しています。そして、④残りの古着はイオンモール上尾の「幸服リレー」に寄付し、再生利用してもらっています。その他にも「サステイナブルな社会」を形成していくために様々な取り組みを行っています！

イオンモール
上尾「幸服
リレー」



R みんな
の衣服

取り組み
の詳細



④古着の寄付
「幸服リレー」

①学内で
古着回収

③裂織
Workshop

②古着
Fashion Show

